

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年8月7日 第227号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



年金資金に大穴あけたアベ政権
株に運用「経済成長」とタマシ

厚労省所管の「年金積立金管理運用独立行政法人」(GPIF)と言う組織は、皆さんが積み立てた厚生年金、国民年金の運用資産約138兆円の年金基金を管理し運用する組織です。GPIFは年金資産を国債や株投資に運用し、15年度は5兆3千億も損失を出しました。例年は7月上旬に結果公表ですが、今年は7月29日と先延ばし。その訳は参院選投票日直前に公表すると選挙で自民党にとって悪影響すると見たのはまちがいないでしょう。

なぜ巨額の損失を出したのか。アベ首相の肝いりでGPIFは14年10月に比較的安全な国債の運用比率を引き下げ、株式の運用を倍増し、トヨタ、三菱、三井住友など大企業株を中心に年金積立金を流し込み、投機マネーも呼び込んで株高・円安を作り出し、アベノミクスで「経済成長した」かのようなだまし討ちでした。そして15年7～9月期、16年1～3月期の世界的株安で損失を出し、今年度4月以降も数兆円の損失と見込まれています。

共産党小池晃書記局長は3月の国会で「アベノミクスを支える株価維持のため国民の老後の資産を食いつぶすのは許されないと厳しく追及。バクチですつても誰も責任とらず、少子高齢化の影響で毎年5兆円近くを年金支給のため積み立て金から取り崩しており、適切な手を打たなければ年金制度の危機的事態になるのになんびりアベ政権に怒りが一杯です。(編集室)

のり子の週刊日誌—主なもの—

- 8月5日 市駅・吉宗像前宣伝、伏虎中訪問、党創立記念講演
- 6日 地域訪問、紀州踊り九条連
- 7日 会議、国賠総会あいさつ
- 8日 ランチタイムアテモ、河西無料生活相談
- 9日 会議、懇親会
- 10日 紀ノ川農協
- 11日 休み



自治体学校開会の様子。中央の舞台は獅子舞と和太鼓の演奏で

第58回自治体学校に参加しました

「地域再生」の講演は印象的でした

「憲法・地方自治・民主主義で地域・自治体に輝きを」というテーマで、第58回自治体学校が7月30日から8月1日まで、神戸で開催されました。兵庫県をはじめ県下の市町村や新聞社など53団体の後援を得て、100人の参加者で行われました。開会は中国獅子舞と和太鼓の演奏で歓迎の幕が開きました。1日目の記念講演は大見えたような気がしました。これから県の長期総合自治体問題研究所前理事長の加茂利男さんで、ご出身は旧那賀町です。日本型人口減少社会と「地域の再生」不安と混迷の時代をどう

まちづくりの未来が少し見えたような気がしました。これから県の長期総合自治体問題研究所前理事長の加茂利男さんで、ご出身は旧那賀町です。日本型人口減少社会と「地域の再生」不安と混迷の時代をどう

障害者の対市交渉から

7月29日、ふれ愛センターで視覚障害者の生活を守る会が、市と交渉しました。障害者総合支援法に関する要望中、64才までの障害者が無料で受けられていたホームヘルプサービスが65才になると介護保険優先となり1割負担となることから「65才を超えての利用は介護保険優先をやめ、選択できるようにして下さい。」との要望が出されました。

市は、「2018年度から法が見直される。高齢障害者が

党市議会議員
南畑さち代



65歳以上の障害者介護利用—選択性が必要

介護保険サービス利用優先となり1割負担となることが課題と国が認識し、緩和される」という答弁でした。私はこの内容について知らなかったので、やっと願いが叶うのか!と思ったのですが、甘かったようです。『議会と自治体』8月号の国会通信(114頁)によると、「負担軽減の仕組みを設けているが様々な条件を課して対象者を限定している。自立生活援助はグループホームの軽度者外しと抱き合わせになりかねないなどの問題点がある」と書かれています。今年5月25日に成立した法律ですが、正確に法律の内容を勉強しなければなりません。そして要望どおり介護保険優先原則は廃止し、障害者の特性に配慮した選択制が実現出来るよう頑張らなければと思います。

